

2021年3月期 連結業績概要

- 1 2021年3月期 連結業績概要
- 2 2022年3月期 連結業績見通し
- 3 中期経営計画
- 4 社会課題への取り組み
- 5 研究開発の取り組み

2021年5月28日

日本化学工業株式会社 4092

© Nippon Chemical Industrial Co., Ltd.

1

2021年3月期 連結業績概要

2021年3月期 通期決算のポイント

- ・ コロナ禍で世界経済が減速も、第2四半期以降は化学業界の回復基調が続いた。
- ・ 第3四半期以降、自動車市場向けを中心に当社製品の需要が回復。円高による調達金額削減効果や経費削減効果も貢献し、売上高、営業利益ともに第1四半期に発表した予想値を大幅に上回る。

◆ 売上高は前期比4.4%減、営業利益は前期比12.2%増

- ・ 第3四半期に回復した自動車市場向けの受注は引き続き堅調。
- ・ 通信・ICT市場向けはDX関連需要が引き続き順調。
- ・ デジタル化の加速により半導体市場向けの需要も旺盛。
- ・ より高効率で競争力のある事業運営を行うため、事業再編等の資産効率向上施策を第4四半期に実施。
(関連会社の解散により、5億円強の一時費用が発生)

2021年3月期 連結業績概要

(百万円)

	2020年3月期	2021年3月期	増減	増減率
売上高	36,243	34,642	▲ 1,600	▲ 4.4%
営業利益	2,481	2,783	302	12.2%
営業利益率	6.8%	8.0%	+1.2pt	
経常利益	2,545	2,315	▲ 230	▲ 9.0%
純利益	1,857	2,182	324	17.5%
ROE	5.2%	5.8%		
1株あたり利益 (円)	211.21	248.11		
配当金 (円)	70	70		

2021年3月期 事業別の収益

(百万円)

		2020年 3月期	2021年 3月期	増減
化学品	売上	15,509	14,257	▲ 1,252
	営業利益	492	434	▲ 58
機能品	売上	15,470	15,151	▲ 319
	営業利益	1,280	1,517	237
賃貸	売上	912	913	1
	営業利益	532	535	3
空調 関連	売上	3,418	3,399	▲ 18
	営業利益	139	182	43
その他	売上	931	921	▲ 10
	営業利益	62	68	6
合計	売上	36,243	34,642	▲ 1,600
	営業利益	2,481	2,783	302

化学品

クロム製品	自動車・鉄鋼向け低調
シリカ製品	環境関連向け低調
りん製品	液晶・半導体向け好調
その他	リチウム・亜酸化銅低調

機能品

ホスフィン誘導体	プラント用触媒順調、QD用材料順調
農薬	堅調
電池材料	原料市況下落
電子セラミック材料	自動車向け低調、通信向け順調
回路材料	主要顧客向け堅調
高純度電子材料	半導体・主要顧客向け好調
その他	バリウム低調

その他

賃貸	主要テナント堅調
空調関連	大型設備低調、量子コンピュータ好調
書店経営	堅調
その他	堅調

連結貸借対照表 資産の部

	(百万円)		
【資産の部】	2020年3月末	2021年3月末	増減
流動資産	29,696	30,598	902
現金及び預金	9,392	10,004	611
受取手形及び売掛金	10,820	11,297	476
たな卸資産	8,840	8,788	▲ 52
その他流動資産	644	509	▲ 135
固定資産	36,254	39,598	3,344
有形固定資産	29,279	30,874	1,595
無形固定資産	644	589	▲ 54
投資有価証券	5,735	7,044	1,309
その他の資産	596	1,091	495
資産合計	65,950	70,196	4,246

連結貸借対照表 負債・純資産の部

(百万円)

【負債の部】	2020年3月末	2021年3月末	増減
流動負債	15,930	17,525	1,595
支払手形及び買掛金	3,194	3,802	608
短期借入金	7,825	8,300	475
その他流動負債	4,911	5,423	512
固定負債	14,251	13,595	▲ 656
長期借入金	8,161	7,283	▲ 878
退職給付に係る負債	1,999	1,387	▲ 612
繰延税金負債	1,706	2,173	467
持分法適用に伴う負債	-	424	424
その他長期負債	2,384	2,326	▲ 58
負債合計	30,181	31,120	939
【純資産の部】			
株主資本	33,799	35,365	1,566
その他の包括利益累計額	1,968	3,709	1,741
純資産合計	35,768	39,075	3,307
負債・純資産合計	65,950	70,196	4,246

連結損益計算書



日本化学

(百万円)

	2020年3月期	2021年3月期	増減	増減率
売上高	36,243	34,642	▲ 1,600	▲4.4%
売上原価	28,457	26,799	▲ 1,658	▲5.8%
販売費・一般管理費	5,304	5,060	▲ 244	▲4.6%
営業利益	2,481	2,783	302	12.2%
営業外収益	293	288	▲ 5	
営業外費用	229	755	526	
持分法による投資損失	-	517	517	
その他営業外費用	229	238	9	
経常利益	2,545	2,315	▲ 230	▲9.0%
特別利益	194	824	630	
投資有価証券売却益	194	824	630	
特別損失	228	191	▲ 37	
税金等調整前純利益	2,511	2,948	437	17.4%
法人税等	624	866	242	
法人税等調整額	29	▲ 100	▲ 129	
純利益	1,857	2,182	324	17.5%

連結キャッシュフロー計算書

(百万円)

	2020年3月末	2021年3月末
I 営業活動によるキャッシュフロー	4,776	5,216
税金等調整前当期純利益	2,511	2,948
減価償却費	2,657	2,875
たな卸資産増減	1,523	46
その他	▲ 1,915	▲ 653
II 投資活動によるキャッシュフロー	▲ 5,503	▲ 3,539
設備投資支出	▲ 5,794	▲ 4,266
その他	291	727
III 財務活動によるキャッシュフロー	842	▲ 1,024
借入金の増減額	1,423	▲ 402
配当金支払い額	▲ 570	▲ 614
その他	▲ 11	▲ 8
現金及び現金同等物に係る換算差額	▲ 5	▲ 5
現金及び現金同等物の増減額	109	647
現金及び現金同等物の期首残高	9,041	9,315
現金及び現金同等物の期末残高	9,315	9,962

2

2022年3月期 連結業績見通し

2022年3月期 通期見通しのポイント

- ・ 世界経済はプラス成長へ。経済対策・ワクチン浸透で生産活動は継続回復が見込まれる。
 - ・ 半導体不足による自動車生産への影響はリスク要因も自動車・鉄鋼市場は回復基調が継続、半導体関連も引き続きの成長が期待される。
- ◆ **デジタル化、省エネ化に伴う需要拡大で売上高増加、当社製品を通じた社会貢献のため、成長投資を継続**
- ・ 成長投資：MLCC材料の積極投資を継続
 - ・ 近年の成長分野向け投資の成果実現に向けた拡販
 - ・ 工場スマート化を推進
 - ・ コア技術を生かした新たな価値の創造

2022年3月期連結業績見通し

	2021年3月期 実績	2022年3月期 見通し	増減	増減率
売上高	34,642	36,000	1,358	3.9%
営業利益	2,783	2,600	▲ 183	▲ 6.6%
営業利益率	8.0%	7.2%	▲0.8pt	
経常利益	2,315	2,600	285	12.3%
純利益	2,182	1,900	▲ 282	▲ 12.9%
1株あたり利益 (円)	248.11	216.01	-	-
配当金 (円)	70	70	-	-
設備投資額	4,443	5,300	857	19.3%
減価償却費	2,875	3,200	325	11.3%
研究開発費	1,223	1,300	77	6.3%

2022年3月期事業別収益見通し

(百万円)

		2021年 3月期 実績	2022年 3月期 見通し	増減
化学品	売上	14,257	13,635	▲ 622
	営業利益	434	595	161
機能品	売上	15,151	16,535	1,384
	営業利益	1,517	1,230	▲ 287
賃貸	売上	913	913	0
	営業利益	535	525	▲ 10
空調 関連	売上	3,399	3,950	551
	営業利益	182	195	13
その他	売上	921	967	46
	営業利益	68	55	▲ 13
合計	売上	34,642	36,000	1,358
	営業利益	2,783	2,600	▲ 183

化学品

クロム製品	自動車・鉄鋼向け回復
シリカ製品	減少見込
りん製品	液晶・半導体向け順調
その他	リチウム製品低調、亜酸化銅堅調

機能品

ホスフィン誘導体	プラント用触媒順調、QD用材料順調
農薬	堅調
電池材料	原料市況下落
電子セラミック材料	自動車・通信向け順調
回路材料	主要顧客向け堅調
高純度電子材料	半導体・主要顧客向け好調
その他	バリウム低調

その他

賃貸	堅調
空調関連	量子コンピュータ好調
書店経営	低調
その他	堅調

3

中期経営計画

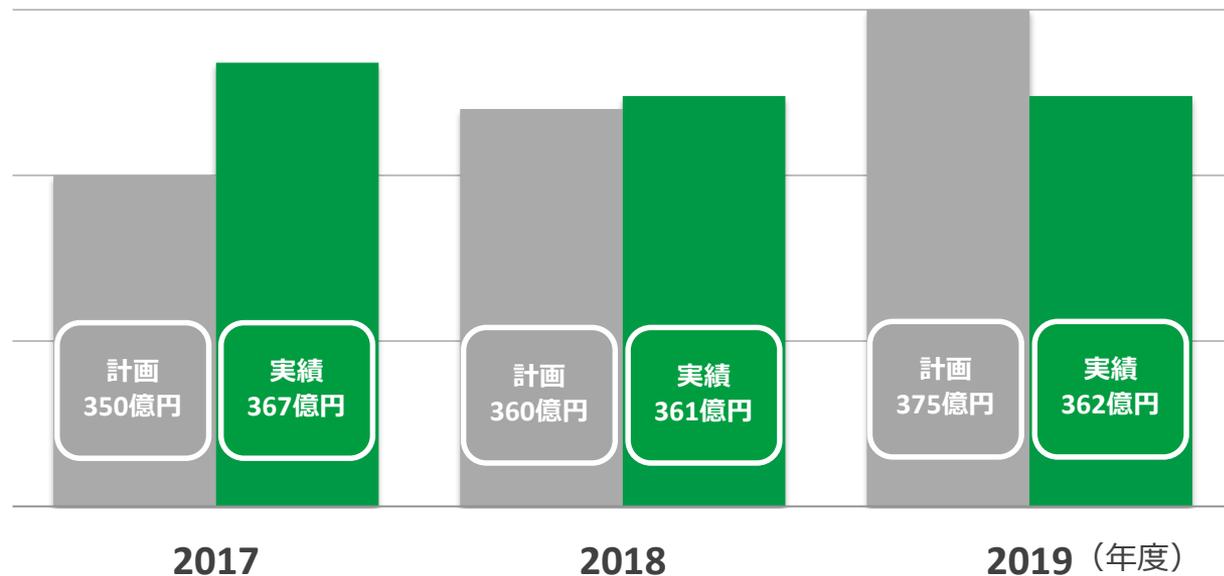
前中期経営計画の振り返り

売上・利益は2年目までは計画達成も、3年目は未達。
積極投資推進により減価償却費が増加、利益を圧迫。

営業利益

計画	25億円	計画	28億円	計画	29億円
実績	40億円	実績	30億円	実績	24億円

売上



前中期経営計画期間中の主な施策

「持続的安定収益の実現」に向けた足固めを実行

- ✓ 重点分野への集中投資
- ✓ 海外戦略の積極的展開
- ✓ 経営基盤の強化

MLCC材料、有機電子材料等の成長投資を推進
ロックゲート㈱を買収、量子コンピュータ市場向け売上増加

半導体市場や次世代ディスプレイ市場向け海外展開を促進
アジア新興国市場の開拓・売上増加

戦略的拡販、各種原価低減策を実行
西淀川工場跡地の再開発完遂

成果の実現への
足固め

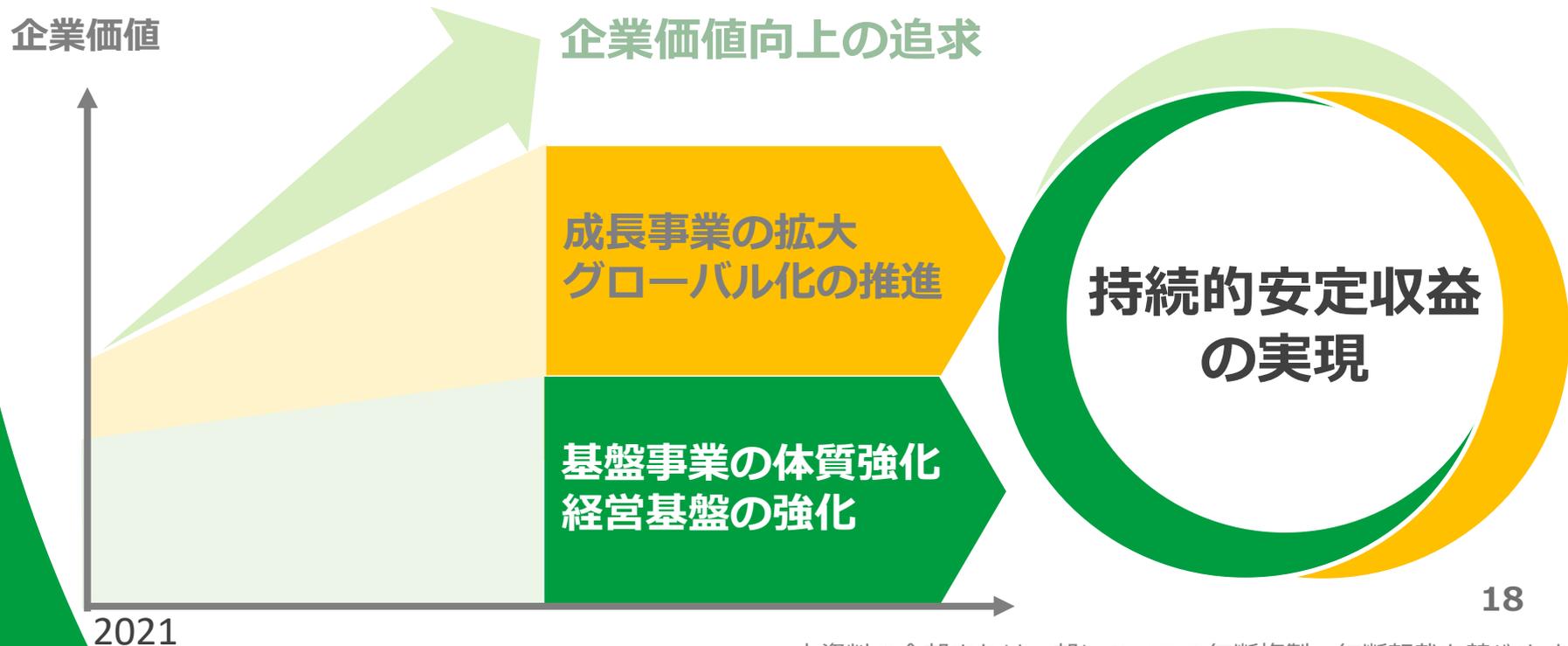
新中期経営計画 (2021～2023年度)

「成長戦略の推進と成果の実現」

新中期経営計画の基本方針

成長戦略の推進 と 成果の実現

前中計の「足固め」の集大成として成果の実現に向け邁進。
経営基盤の強化・最適化には引き続き取り組み、
成長戦略・グローバル化戦略推進で新たな収益基盤を構築を目指す。



新中期経営計画の数値目標

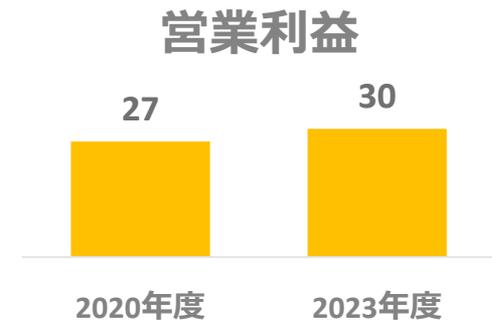
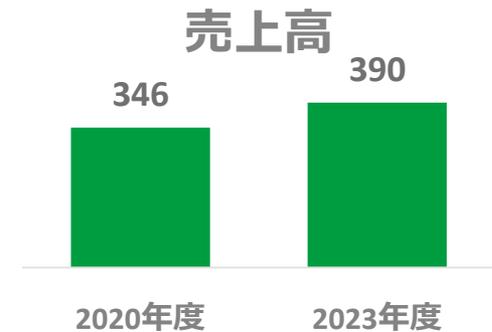
2023年度目標

売上高
390 億円

営業利益
30 億円

成長分野を中心に売上拡大も、積極投資により減価償却費・販管費が増加

数値目標	(億円)	
	2020年度	新中期経営計画 (2021~2023) 2023年度
化学品	142	+8%
機能品	151	+20%
空調関連	33	+12%
賃貸 他	18	安定



基盤事業の体質強化

〈基盤事業製品・用途の一例〉

クロム製品

国内唯一の
クロム化合物メーカー

硬質クロムめっき
硬度と耐摩耗性に
優れる

用途：シリンダ
ピストンリング



耐火レンガ
1790℃以上の耐火
度を有する

用途：冶金用炉

電磁鋼板用めっき
EV用駆動モーター

シリカ製品

日本で初めての生産
(珪酸ソーダ)

古紙の脱インク
古紙からパルプを再生する際の汚れ
の除去と漂白時の過酸化水素の安定
化に使用される。



土壌硬化材
建設工事において空洞、空隙、隙間
などを埋めるために注入する流動性
の液体で、軟弱地盤の硬化に用いら
れる

りん製品

国内最大級の
製品ラインアップ



食品添加物
麺の風味付添加剤
pH調整剤
乳化剤



洗剤



光学用ガラス材料
化学的安定性を付与
可視光透過率の向上

付加価値製品のラインアップ充実化と、生産効率化により
採算性向上・収益拡大を図る

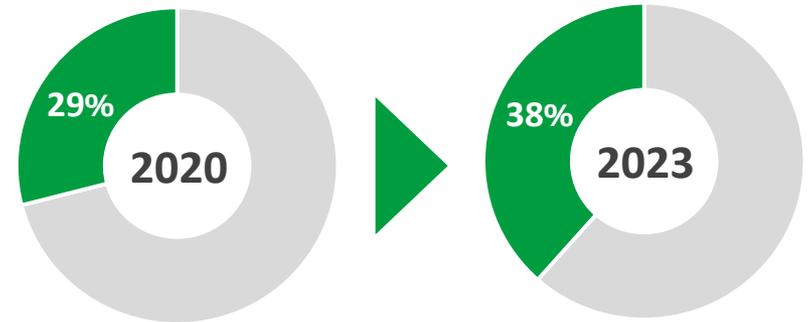
成長分野の拡大

デジタル化・省エネ化が売上拡大に貢献

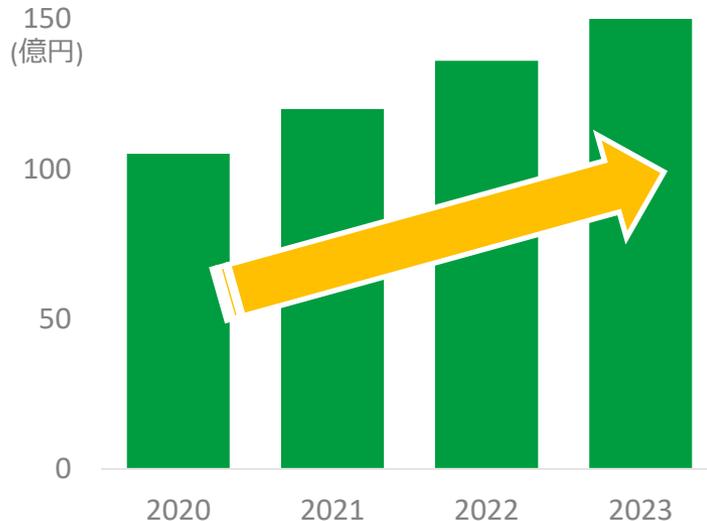
成長加速

- ◆ 電子セラミック材料
- ◆ 液晶/半導体用りん酸
- ◆ 高純度赤燐
- ◆ 高純度ホスフィンガス
- ◆ 量子ドット用りん原料
- ◆ 有機電子材料

＜売上全体に占める成長分野の割合＞



＜成長分野の売上高＞



電子セラミック材料

高付加価値のMLCCは中長期で構造的に需要増

成長要因

- ◆ 自動車の電装化
(自動運転・ハイブリッドやEV車の増大)
- ◆ Society5.0の実現に向けたインフラ投資
(5G基地局・センサー・IoTモジュール)
- ◆ スマートフォンの5G化

製品用途

- ・ チタン酸バリウム：MLCCの誘電体材料
- ・ 高純度炭酸バリウム：チタン酸バリウムの原料

当社の強み

- ◆ 豊富な無機薬品の合成技術
→顧客が求める機能への合わせこみが可能
- ◆ 多彩な製法
→しゅう酸塩法・固相法・アルコキシド法
- ◆ 高品質な製品の提供
→安定した組成(Ba/Ti比)・均一な粒度・高純度

事業戦略

- ◆ 製品供給力の強化 (増産への設備投資)
- ◆ BCPへの対応 (生産工場の複数化)
- ◆ 顧客要求を満たす新製品開発

チタン酸バリウムの新生産棟竣工

- ・ 既存生産工場である福島第一工場に加え、徳山工場内に新生産棟を建設、21年4月末に竣工
- ・ 2021年上期中の稼働開始予定
- ・ 今後、市場の拡大に合わせて順次増産を計画していく



チタン酸バリウム
徳山 新生産棟

半導体用りん酸・高純度ホスフィンガス・高純度赤燐

5G化の更なる進展が需要拡大に貢献

成長要因

- ◆半導体市場の継続的な成長
- ◆インターネット通信の高速化・大容量化
→光通信向け受発光素子材料の需要増大

製品用途

- ・りん酸：エッチング材料
- ・高純度赤燐：N型ドーパント材料、
化合物半導体材料（InP系）
- ・高純度ホスフィンガス：N型ドーパント材料

当社の強み

- ◆製品供給力
→高純度赤燐の増産完了
- ◆高品質な製品の提供
→ホスフィンガスから高純度赤燐を製造

事業戦略

- ◆顧客要求を満たす新グレード開発

高純度赤燐の新生産棟竣工

- ・デジタル化の加速や光通信向けの需要拡大を背景に市場成長が見込まれる
- ・福島第二工場内に、新生産棟を建設、
21年4月に竣工&稼働開始
- ・生産能力2倍、安定供給体制を強化



高純度赤燐 新生産棟

量子ドット (QD) 用リン原料

世界市場の成長に合わせ需要も拡大トレンド

成長要因

- ◆量子ドットディスプレイの需要増大
- ◆韓国大手ディスプレイメーカーがインジウム系インクをベースとした次世代型ディスプレイに対し大規模な投資を推進中
→2022年からの市場投入開始に向け、順調に投資が進む



当社の強み

- ◆豊富な技術・ノウハウ
→25年以上に渡るホスフィン誘導体の開発・製造実績による多彩な化合物の提供
- ◆多彩な製法
→現在主流のCd/Se系のみならず、次世代のInP系原料にも対応
- ◆競争優位性
→市場の立ち上がり段階から主要ユーザーと関係構築。市場への材料提供・新製品投入

量子ドット (QD : Quantum Dot) とは・・・
直径が10nm以下の半導体粒子。
主にカドミウムセレン系やインジウムリン系がある

QDテレビとは・・・
量子ドット(QD)を搭載した次世代型テレビで、
中国・韓国を中心に広がりを見せている

4

社会課題への取り組み

日本化学工業の企業理念

人を大切に、技を大切に

私達は、創業以来125年以上、大きな社会変動を乗り越えて良質な製品を作り続けてきました。この伝統と実績を受け継ぎ「人」と「技」を両輪として新しい風を吹き起こし、より良い製品とサービスによって豊かな社会に貢献します。

社会に新しい風

地域社会、国、地球規模まで視野に入れた「人」の幸福に貢献できる企業活動を目指します。

事業領域に新しい風

得意分野、得意「技」を練磨して、機能性を高めます。

お客様に新しい風

お客様「人」とのつながりをもっと深め市場ニーズの先取りに努力し、得意「技」と先見の「技」で応えます。

社内に新しい風

一人一人の可能性に挑戦する活力が「技」となり、職場に快適な風を作ります。

日本化学と社会課題①

「人」と「技」で社会課題の解決に取り組む

人を大切に、技を大切に

企業理念

研究開発

製品

快適性の向上
エネルギーマネジメント
健康（命）を守る

快適な生活
安全なまちづくり
情報通信の高度化

日本化学と社会課題②

持続可能な社会・企業づくりの両立

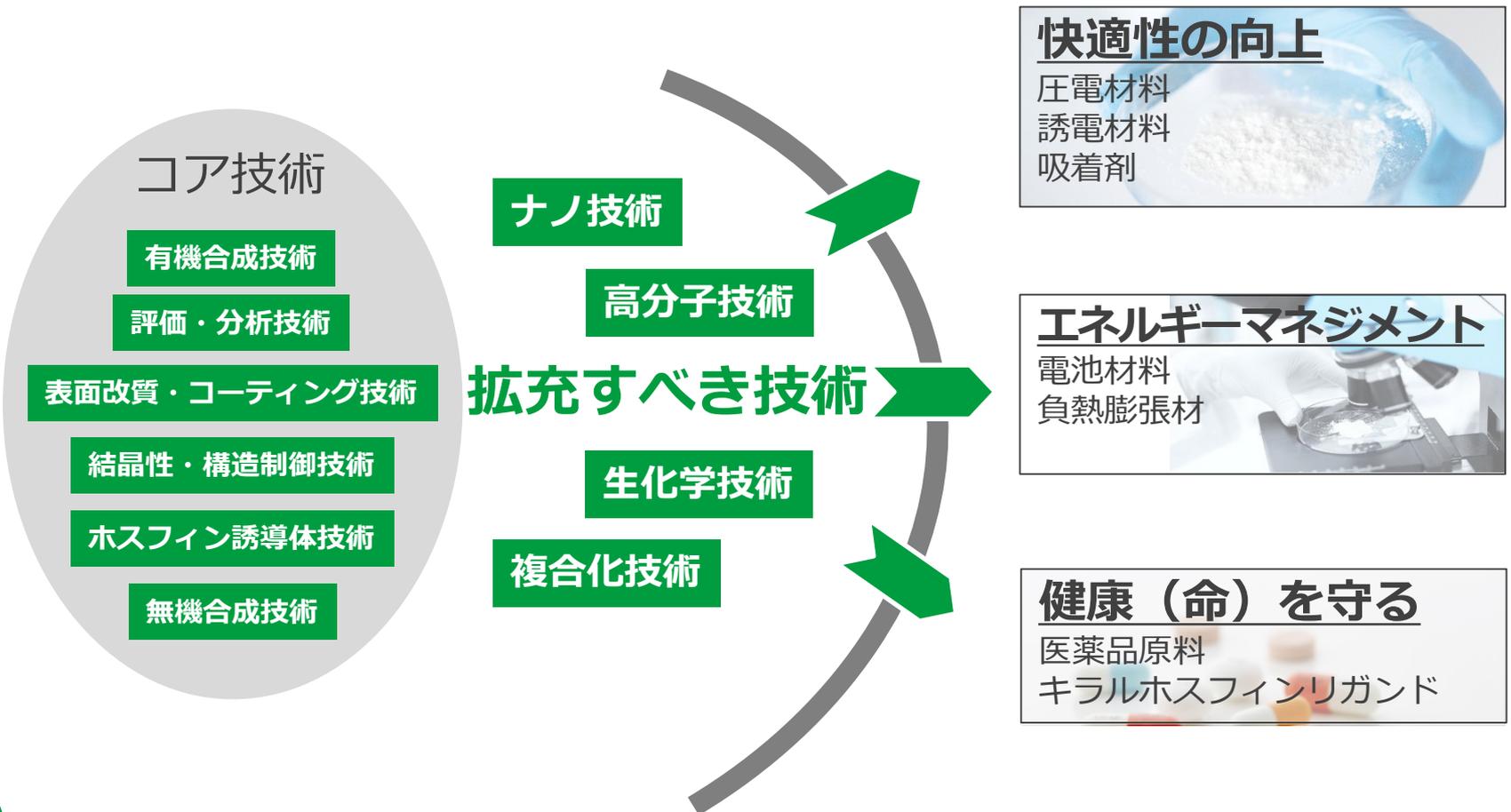


5

研究開発の取り組み

研究開発コンセプトについて

新技術を取り入れながら、
新市場・新分野の開拓に向けた取り組みが進行中。



小型全固体電池用機能性リン酸塩①

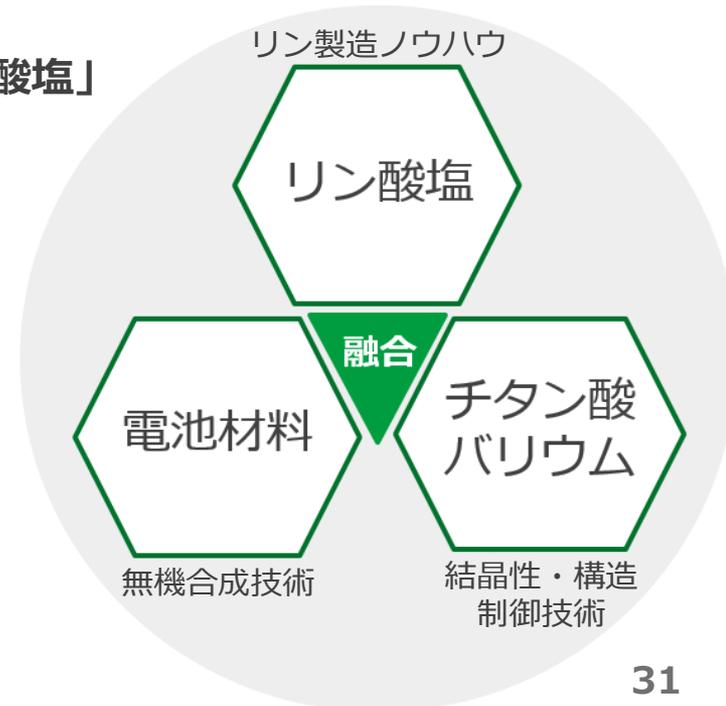
次世代電池向けリン酸塩活物質及び固体電解質を開発

特徴

- ◆ 当社の各要素技術を融合した独自の化学的合成法
 - 100年の歴史をもつリン酸製造ノウハウ
 - リチウムイオン電池の正極活物質製造で培った無機合成技術
 - 分子レベルで均一な組成比に作り込む結晶性、構造制御技術
- ◆ リチウム・リン酸および各種金属との反応を制御
- ◆ 特に小型全固体電池用として適した「機能性リン酸塩」

製品例

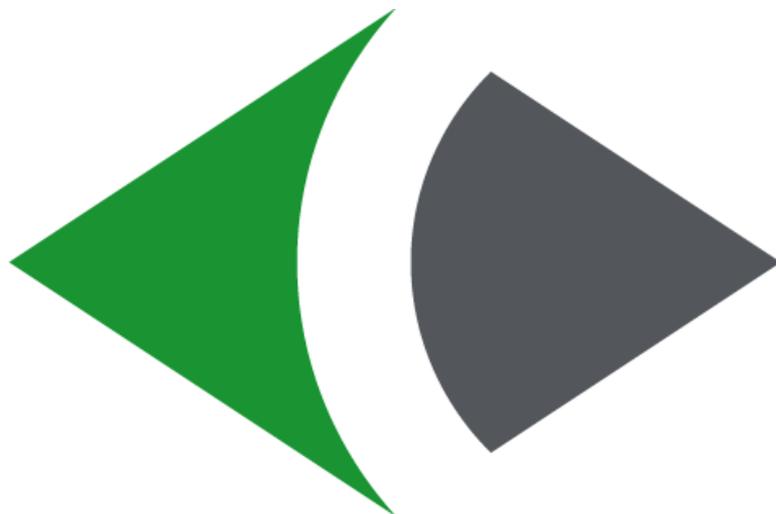
- ・ リン酸チタンアルミリチウム
LATP : Lithium Aluminum Titanium Phosphate
- ・ リン酸バナジウムリチウム
LVP : Lithium Vanadium Phosphate
- ・ リン酸コバルトリチウム
LCP : Lithium Cobalt Phosphate



注意事項

本資料に記載されている業績予想や事業計画は、当社が現在入手可能な情報および一定の前提条件に基づいて作成したものであり、将来の当社業績を保証するものではありません。様々な要因により、実際の業績等は異なる可能性があります。

投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断で行われるようお願い致します。



日本化学